

◎環境科学専攻  
《博士前期課程》

科目区分	授業科目	単位数 (○印は必修)	開講年次	教職関連科目 (専修・理科)	
専攻共通 教育専門 科目	空間計画学特論	2	1・2		
	環境設計学特論	2	1・2		
	環境共生学特論	2	1・2		
	環境情報・数物数学特論	2	1・2		
	環境論	2	1・2		
	環境実験法特論	2	1・2		
	環境調査法特論	2	1・2		
	科学英語演習 ※	②	1		
森林科学 科目群	森林生態学	森林生態学特論	2	1・2	○
		森林生態学演習	4	1～2	○
		森林生態学実験	10	1～2	
		森林生理生態学特論	2	1・2	○
		森林生理生態学演習	4	1～2	○
		森林生理生態学実験	10	1～2	
		森林植生学特論	2	1	○
		植生環境学特論	2	1・2	○
		森林植生学演習	4	1～2	○
		森林植生学実験	10	1～2	
		森林資源循環学特論	2	1	○
		森林資源循環学演習	4	1～2	○
	森林資源循環学実験	10	1～2		
	流域保全学	森林計画学特論	2	1・2	○
		森林計測学特論	2	1・2	○
		森林計画学演習	4	1～2	○
		森林計画学実験	10	1～2	
		砂防学特論	2	1・2	○
		土砂移動現象論特論	2	1	○
		砂防学演習	4	1～2	○
		砂防学実験	10	1～2	
		山地防災学特論	2	1・2	○
		山地防災学演習	4	1～2	○
		山地防災学実験	10	1～2	
		流域情報学特論	2	1	○
	流域情報学演習	4	1～2	○	
	流域情報学実験	10	1～2		
	森林資源学	生物材料物性学特論	2	1・2	○
		木質工学特論	2	1・2	○
		生物材料物性学演習	4	1～2	○
		生物材料物性学実験	10	1～2	
		木材利用システム学特論	2	1・2	○
		木材利用システム学演習	4	1～2	○
木材利用システム学実験		10	1～2		
生物材料利用化学特論		2	1・2	○	
生物材料利用化学演習		4	1～2	○	
生物材料利用化学実験	10	1～2			

※「開講年次」欄中、「1・2」は隔年開講、「1～2」は2年間通して履修すべきことを表す。

※「科学英語演習」の開講年次は変更することがある。

※「森林科学科目群」では、所属する専門種目の演習、実験科目のうち、主指導教員が担当する演習、実験科目を選択すること。

科目区分	授業科目	単位数 (○印は必修)	開講年次	教職関連科目 (専修・理科)	
生活環境科学科目群	住環境文化学	住居建築史学特論	1	1	
		都市計画学特論	1	1	
		住生活学特論	1	1	
		循環型社会論特論	1	1	
		生活文化論特論	1	1	
		住環境文化学演習	4	1～2	
	住環境文化学実験	10	1～2		
	住環境計画学	構造デザイン学特論	1	1	
		建築計画学特論	1	1	
		居住福祉計画学特論	1	1	
		建築・インテリア意匠学特論	1	1	
		建築・インテリア設計学特論	1	1	
		住環境計画学演習	4	1～2	
	住環境計画学実験	10	1～2		
	住環境機構学	建築都市環境学特論	1	1	
		視環境計画学特論	1	1	
		木質構造学特論	1	1	
		住環境防災学特論	1	1	
地域景観保全特論		1	1		
住環境機構学演習		4	1～2		
住環境機構学実験	10	1～2			
数物・情報環境科学科目群	環境応用情報学	環境数理計画特論	2	1・2	
		人間環境画像解析特論	2	1・2	
		応用人工知能特論	2	1・2	
		生活福祉情報学特論	2	1・2	
		環境応用情報学演習	4	1～2	
		環境応用情報学実験	10	1～2	
	環境応用数理学	応用数理解析特論	2	1・2	
		環境数値解析特論	2	1・2	
		環境応用数理学演習	4	1～2	
		環境応用数理学実験	10	1～2	
	環境計測学	環境計測学特論	2	1・2	○
		放射線計測学特論	2	1・2	○
		応用原子物理学特論	2	1・2	○
		環境計測学演習	4	1～2	○
		環境計測学実験	10	1～2	

※ 中学校及び高等学校教諭（理科）の専修免許状を取得するには、修士の学位を有し、当該一種免許状を取得、または取得に必要な単位数を修得し、加えて表の「教職関連科目（専修・理科）」欄の○印の科目から24単位以上修得しなければならない。（P.48 大学が独自に設定する科目「学校インターン（大学院）」も当該免許状取得に必要な24単位に含むことができる。）なお、専修免許状の取得申請は、修了年度の10月初旬に学務課教務係に申し出ること。